

第2回日野市指定管理者市民評価委員会議事要点録

日時	平成31年1月23日（水）午後1時30分～午後3時30分
場所	市役所5階 502会議室
出席者	坪島委員長、吉澤副委員長、岩崎委員、高橋委員
議題	<p>1. 評価</p> <p>(1)日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ 社会福祉法人雲柱社の報告、質疑</p> <p>2. 評価</p> <p>(2)日野市立みなみだら児童館ぷらねっと 公益財団法人社会教育協会日野社会教育センターの報告、質疑</p>
	<p>●評価の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による報告 ・市民委員からの質疑（回答：指定管理者） ・市民委員からの質疑（回答：子育て課） ・まとめ（採点）
議題1	<p>●評価</p> <p>(1)日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ ：指定管理者（社会福祉法人雲柱社）による報告</p> <p>＝主な質疑（指定管理者）＝</p> <p>（質問）げんきっずの事業について、何処へ移動児童館として行っているのか。</p> <p>（回答）月2回、多摩平第一公園を基本として、季節に応じて黒川清流公園やグラウンドで運動会など実施をしている。</p> <p>（意見）「すくすくクラブ（乳幼児親子事業）」などにも行けない、児童館にも行けない孤立した母親が地域に出て来てもらえると、子育てがし易くなるので、良い事だと思った。</p> <p>（質問）ノーマライゼーションの場とあるが、どういう事なのか。</p> <p>（回答）日々、様々な個性をもった方がそれぞれ利用できるように工夫している。例えば、運動が苦手な子でも、無理に運動をさせて苦痛に感じさせるのではなく、職員が柔軟に工夫して対応し、参加者全員が楽しく動けるようにしている。</p> <p>（質問）児童厚生員とは具体的にはどんなことをするのか。一般的な職務の名称なのか。</p> <p>（回答）児童館に務めている我々は児童厚生員と呼ばれている。子どもの発達を理解しながら、その子どもの成長を、遊びを通して豊かに育てていくことを職務としている。保育士などと同様に一般名称で使っている。</p>

- (質問) 経費の節減について、水道使用料など経費節減に努めているとあるが、子ども達も守ってくれているのか。
- (回答) 時と場合によるが、子どもによっては、素直にやってくれない事もあるが、積み重ねで少しずつでも子ども達へ伝えてゆき、分かってもらえるように努めている。
- (質問) 中学生の利用者数について、平成 28 年度は減少していたが、平成 29 年度は利用人数が戻っている。原因は何か分かっているのか。
- (回答) 中学生、高校生はその年によって変動がある。原因が分かっているとは言えない。個別対応をしながら試行錯誤している。
- (意見) 中学生までは学校が見てくれるが、高校生以上の年齢の子を見てくれる場所がない。中高生の年齢の子どもの居場所として、役割を果たして欲しい。
- (質問) 現状、たまだいら児童館の利用者数についてはどのように考えているのか。たまだいら児童館の充足度は何パーセントと考えているか。
- (回答) 目標としては 5 万人というラインを意識している。ただ、毎日、平均した人数が来るわけではない(多い日もあり少ない日もある)。年々利用する子どもの人数が減少している事には、危機感を感じている。児童館で待っているだけでなく、地域に出ていく活動も考えている。
- (質問) 視察の際も利用者が多くみられ、年間利用者数としては十分のように思える。利用者数が限界にきているならば、今度は質を問うことになると思うが、質に関して客観的に評価する項目などがあるのか。例えば初めての人は何パーセントくらい来館があるのか。職員の行動に対し市民がどのように満足しているか、満足度などをどう評価するのか。
- (回答) 初めて来館する人の割合は出していない。満足度を計る尺度については、今後の課題として考えていきたい。
- (質問) 地域・学校でも解決できない色々な問題、職員のカウンセラー的な研修はどうなっているのか。
- (回答) 職場内研修や外部の研修も利用し、日野市で行う研修にも参加している。色々な勉強会があるので時間が許す限り参加するように努力している。
- (質問) 赤ちゃんから高校生まで幅広い年代に対応しているが、その中で一番苦慮する点は何か。
- (回答) 家庭的に特別な配慮が必要な児童か分からず、保護者や家庭の背景など知らない状態で対応する点は難しいと感じることがある。
- (意見) 児童館が子どもにとって良い相談の場所になれば良いと思う。研鑽を積んで進めて欲しい。
- (質問) 目標 5 万人で、良い環境があるので、みんなが来るが、逆の面から施設の大きさ

に対して、人数が多過ぎて、質の維持、遊具なども含めて大丈夫なのか。

(回答) 来館者の多い時には下駄箱も足りないことがあるが、多い時には体育館の利用時間を変更したり、乳幼児のスペースの使い方を変更したり努力している。毎年、ヒヤリハットなど職員で出し合って危険防止に努めている。乳幼児用の滑り台の場所も変更したりできる限りで工夫して対応している。

(質問) 地域型児童館となっているが、基幹型あさひがおか児童館と連携する事業はあるのか。また、相談電話のサービスは無いのか。

(回答) 年に数回であるが乳幼児の活動を一緒に行っている。こちらから、職員が行って合同で事業を行ったり、あさひがおか児童館の講師の方が来て実施したり、げんきっずとして地域の公園に互いの職員が集まって一緒に実施などしている。小学生の活動でも、ドッジボールや卓球などで交流をしている。相談電話用の設置はたまだいら児童館にはない。

(質問) 子ども服リサイクルというのがあるがどんな活動か。

(回答) 先日の参加者は 20 名弱であったが地域の中で、地域から提供された子ども服を無料で子育て中の方へ配布している。

(意見) 子ども服リサイクルは良い活動だと思うので続けて欲しい。また、やはり事故が起きているので、利用者数が多く対応は大変だろうが注意して欲しい。

(質問) 評議会は制度的に行っているものか。また、地域との関係を築くのは、この会議のみなのか。

(回答) 協定で年 2 回開催することになっている。地域の学校関係者や民生委員会、子育て課も来ている。色々なテーマで話をしている、事業報告も行っている。他の地域の会議に呼ばれて、地域の会議に出席することもある。育成会や学校等にも行く。

(質問) 地域交流センター内で何か中高生など問題があった場合は、交流センターと一緒にになって対応することもあるのか。

(回答) 対応している。

(質問) 雲柱社の組織は幅広く対応しているが、児童館が行う行事で、新しい試みなどはあるのか。前回の選定委員会から 5 年経って社会の変化に対して、児童館の遊び場の環境が変化していない気がする。

(回答) 子どもを取り巻く環境は変化しているが、大切な部分では変わらないので、それを大切にしている。また、子どもたちは、児童館に行けば誰かがいると、人を求めて来ている事を感じるので、その対応について大切にしている。

(意見) 雲柱社という組織で、素人では気が付かないような新しい取り組みを見せて頂きたい。プロに委託するので、プロらしさを見せていただきたい。

(意見) 評価は今までより早い時期に行っているなので、残りの指定期間で努力して欲しい。

～指定管理者退出後～

＝主な質疑（子育て課）＝

（質問）児童館全体の事業がどういうレベルにあって、指定管理者制度を導入している、ただいま児童館とみなみだいら児童館 2 館がどの位置にあるかが分からないと、この 2 館の質が良いのかどうか評価が分からない。

（回答）児童館全体の評価の中で、指定管理者管理の 2 館の評価がどうなっているかは、大切だと感じている。児童館経費の中で指定管理料が大きなものになっている事は確かである。ただ、公立児童館では正規職員が配置されていることを考えると、ただいま児童館の経費が高いかどうかは、一概には言えない。

ただいま児童館は市内 10 か所の中で一番利用者数が多いことは間違いない。基幹型児童館には正規職員が 6 名配置されている。基幹型あさひがおか児童館は年間約 4 万人の利用者があり、ただいま児童館は約 5 万人の利用者があることを考えても評価して良いと考えている。利用者人数に関しては地理的な部分が大きく、単純に比較できない部分もある。その中でしっかりと運用して、明るく利用者を迎える対応はしっかりとできている事業者と市民からの評判も高く、子育て課としては評価している。

（質問）指定管理者管理の児童館は夜 7 時まで開館していることについては、どう考えているのか。

（回答）児童館ガイドラインにも中高生の居場所としての役割も大切とされている。指定管理者管理の児童館が中高生を迎えられる時間に実施している意義はある。直営の児童館でも中高生への対応として何が求められているかが課題である。指定管理者管理の児童館の実践を見ながら、現在、児童館事業全体のレベルアップを検討している。

（質問）一般管理費をとっており、収支がプラスになっている。努力されているだろうが、プラスになった部分を市民サービスにつなげる検討はできないか。予算の組み方が甘いのではと感じる。また、費目が他の施設の費目と違い比較しにくい、同じにしてもらいたい。

（回答）費目については、様々な視点を入れて分かりやすい事が大事なので点検していきたいと思う。

予算については、現状も収支には出てこない形で研修を行うなどして還元はしてもらっているが、指摘を受け、今後はより柔軟性をもって市民サービスにつなげられるよう勉強していきたいと思っている。

＝まとめ（採点）＝

●評価

(2)日野市立みなみだいら児童館

：指定管理者（公益財団法人社会教育協会日野社会教育センター）による報告

＝主な質疑（指定管理者）＝

（意見）平成 26 年度の指定管理者更新の市民評価にあたって、みなみだいら児童館に案内表示等の目印になる物を要望した。

今回、屋上に看板、のぼり旗を確認できた。前は、近所の人に聞いても場所が分からなかったが、今回は約束を守ってもらい良かった。

（質問）移動児童館について、子育てに迷った孤立した若い母親（児童館に自分から行けない人など）がいると思うが、移動児童館は、そういった母親同士のコミュニティづくりに役立っているのか。

（回答）鹿島台地区のほほえみ公園やかしまだ公園に行っている。また、ひらやま児童館と一緒に川辺堀之内の上田地区センターの方でも実施している。上田地区、鹿島台地区ともに戸建てが増えており、若い母親など日野の事を知らないで引っ越してきた人が多い。

両地区とも近隣の情報が無い様子である。そういう方が、まず、近くに出て来られるように活動している。また、最初にどこに行っても良いのか分からない人のために、移動児童館事業ではお知らせ等の情報の提供をしている。

（質問）平成 29 年度の小学生の減少について、ひのっちや学童クラブの増加、インフルエンザ流行が影響したのか。

（回答）インフルエンザの影響は大きかったと分析している。

ひのっちも、ランドセルを持って友達と過ごせる場として、子ども達にとっては重要な居場所だと感じている。学校から距離のあるみなみだいら児童館の立地を考えると、ひのっちの影響がないとは言えない。

（質問）利用者数について、平成 29 年度の実績を見て、どのように考えているか。

（回答）少し減っている。小学生が減少したことが影響している。少しでも多く利用してもらえよう、現在、工夫した事業を考えている。豊田小学校の利用者は、少なかったが、豊田小学校が総合学習の時間に児童館に来て、幼児との触れ合いや母親の手助けをする授業をしている。これらをきっかけに、また、盛り上げていきたいとも考えている。

（質問）現状の利用者数は、想定されている目標値に対して、何パーセントくらいなのか。

（回答）2 万 4 千人を目標値にしている。大きくではないが、少し下がったと考えている。これより数値を落とさないよう努力している。

(質問) 目標値は施設の大きさなどで2万4千人としているのか。2万4千人という数は児童館の全体の利用者数から見ると下から3番目くらいの規模だが、利用者数が少ない理由はあるのか。

(回答) 学童クラブを併設している館としていない館では利用者数はかなり違っており、みなみだいら児童館は併設していない。また、南平小学校と鹿島台地域などは高低差がかなりあり、その地区の子どもが一度帰宅してから、下りて児童館に来るとなると立地の問題がある。学校の授業が増えて、子どもの帰宅時間自体が遅くなっている。児童館近隣の子どもでも下校時間が遅くなっているため、午後4時過ぎや閉館間際に遊びにくくなっている。子ども達の生活時間の変化や児童館への距離などで、利用者数は館によって違ってくる。利用者数の減少は課題であり、子ども達にどんな事をして来てもらうか、どんなアイデアを出すかを考えていきたい。

(質問) 小学生も、今、帰り時間が遅くなっている。開館時間を延ばすことはできるのか。

(回答) 開館時間は条例で決まっているので変更は難しいが、開館時間内で小学生が使える時間帯の設定は、館内で持ち帰り考えてみることはできる。

(質問) キッチンの設備もあるが、子ども食堂のような事業を実施することは考えているのか。

(回答) 現状、「おにぎりランチの日」を実施している。2011年から開始して8年になる。当時は子ども食堂という考えはまだなかったが、昼ご飯を持って来ない子ども、カップ麺や500円玉を持ってくる子どもがいた。お米を1合持ってきたらしっかり食べられるという事を細々ながら続けてきている。

最近では、乳幼児の親子(母親だけでなく父親とお子さんの参加の姿も)が参加している。お昼を一緒に食べれば、一日児童館で過ごせるという、貧困に特化したものでなく誰でも参加できるような仕掛けを考えて続けている。今後、社会福祉協議会とコラボレーションして、フードバンクの活用なども模索していく。

(意見) 食は人間性を育てる上で一番大切なことなので、大変だと思うが、児童館でもプランの中に入れて進めて欲しい。

(回答) 乳幼児の利用の増加が見えるが、どこから来ているのか。その地域で増えているのか。インターネットなどの活用で遠くからも来ているのか。

(回答) 南平、東豊田、豊田、平山など近隣エリアの方が多く、9割を占めている。

(質問) 「みんなのはらっぱ」と競合しているのか。

(回答) お互いのチラシを持って遊びに来ている姿があり、利用者は相互にうまく利用されている様子が伺える。「みんなのはらっぱ」の開催をしている日でも、児童館の利用者が減るということは見られない。

(質問) 基幹型ひらやま児童館と連携した事業はあるのか。

(回答) 移動児童館や児童館まつりなど連携している。

(質問) 社会教育センターなので色々な事業を手掛けている。キャンプなどでは、火おこしするなども行っているのか。応募者数は多いのか。

(回答) 火おこしも行っている。応募者数は多いが、定員はなかなか増やすことはできない。

(質問) キャンプ予算については、収支が合っているが、合わせているのか。

本来どうだったのか、実際に合っているのか。これだけの事業をして節減したのでプラスになった、実際は少しマイナスになったなどあるはず。事業として予算規模が適正でないので予算額を上げてくださいなど資料を作ってやらないのか。

本部で補填しているのではないか気になる。

(回答) 決算する時は、収入（参加人数）に似合ったものを計上する。当初予算に合わせた事業にしている。

(意見) 職員の方も健康に気を付けて頑張ってもらいたい。日野市に住んでいて良かったと思うことが増えてきている。若い人が他から引っ越してくるのは、こういった活動の積み重ねだと感じている。行政も事業者も頑張ってもらいたい、良い日野市になるよう進めて欲しい。経済状況が厳しい中で頑張っていると感じる。

館内の掲示など前回に比べて積極的に PR していると感じた。評価のタイミングが早まったので、是非、平成 31 年度の事業に今回の意見を活かして欲しい。

～指定管理者退出後～

＝主な質疑（子育て課）＝

(質問) 児童館の看板設置については、前回要望して出来ていた。しかし、駅を見たら特になく、館長が主管課に言われてから、動いたと聞いている。

(回答) 駅については主管課としても、もう少し指導が必要だったと反省している。

事業者としては危機感をもって対応はしている。

(質問) みなみだいら児童館は利用者数が少ないことから、他の施設の経費と比較して、指定管理料が高いのではないか。

(回答) 同じ指定管理として利用人数の違いが目立ってしまうが、内容としてはどちらの事業者も頑張っていると評価している。どちらの事業者も地域性を理由にしたくないと話しているが、同じ地域で見ても、たまだいら児童館は 5 万人で、基幹型あさひがおか児童館は 4 万人の利用者である。一方、みなみだいら児童館は 2 万 4 千人、同じ地域の基幹型ひらやま児童館も 2 万 4 千人という点では、ある程度地域性を考えなくてはならない。

その中でも、みなみだいら児童館は職員が 3 名、たまだいら児童館は一人増やして 4 人となっている。日常業務では倍の人数を扱っている、たまだいら児童館の大変

さが伺えるが、児童館は乳幼児親子から小中学生、高校生まで様々な対応しており、最低の人数として3名は必要と考えている。

みなみだいら児童館は、本当に地域に根ざしていると感じる。みなみだいら児童館の評議会は地域の方はもちろん、小中学校の校長先生、PTAの会長、都立南平高校の校長先生も来ており、評議会の中でも地域の方が進行役を行い、様々な意見を自由に話し合い、それを取り入れた事業を実践している。

利用者の対応だけでは人数に差があるように見えるが、地域とのつながり等総合的に見ると決して、みなみだいら児童館の指定管理料が高いとは言えない。

平成29年度から、しんめい児童館を業務委託している。こちらも職員3名で、みなみだいら児童館と同額となっている。行政として、経費削減に努めることは大切だが、子育て中の保護者、子どもたち、地域の方への支援と考えると、予算を抑えるのではなく、もっと良いサービスに変えていくことが大切と考えている。

(意見) 指定管理料が突出して高くないとしたら、日野市の児童館事業全体を厳密に評価しないといけないのではないかと。

同じ費目で挙げた比較が必要。同じ基準で比較した場合、1人当たりどうなのかという基準で説明してほしい。

(質問) 決算が予算と合うこと自体どうなのか。事業を行い、人数や条件が違うはずなので本来、合うはずがない。どこかにしわ寄せがいつていると思われる。

(回答) 本来、たまたみだいら児童館同様にしっかり出してもらう必要があり、プラスになっているのか、マイナスが出ているのか主管課でしっかり見て、適正な指定管理料になっているのか評価する必要があると思う。今後しっかりと見ていきたい。

(意見) 日野市の他の施設の費目に合わせて、見られるようにしていただきたい。

=まとめ(採点) =

～第2回日野市指定管理者市民評価委員会終了～